

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	河川課長 田中 悟	電話番号	0852-22-5195
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	河川・海岸計画
目的	(1) 対象 河川流域や海岸沿岸域の居住者及び一般県民 (2) 意図 河川・海岸の工事や維持を行う上での具体的な整備の目標や手法を明らかにする。
事業概要	一級河川の指定区間及び二級河川のうち、事業実施を計画している、あるいは実施中の河川について、流域の具体的な整備目標や維持管理に関する事項を定めた河川整備計画を策定する。

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	河川整備実施中等の主要河川の河川整備計画策定数（平成19年度からの累計）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		9.00	12.00	14.00	16.00	
式・定義	河川整備実施中等の主要河川の河川整備計画策定数（平成19年度からの累計）		実績値	6.00	6.00	11.00	15.00		箇所
			達成率		66.70	91.70	107.20		%
指標名			年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	30,879	61,464
うち一般財源(千円)	30,879	61,464

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 25年度中は国土交通省への認可申請までとなり策定まで至らなかった2流域の河川整備計画について、26年度に策定した。
- 26年度に認可申請を出した2流域については年度内に策定に至った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 適宜、関係機関と協議・調整を行い、年度内に申請した2流域について、年度内の策定を行うことができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 河川整備基本方針が未策定の水系が54、河川整備計画未策定の水系（流域）が68ある。
- 継続事業がある河川の整備計画は策定済みだが、長寿命化計画関連、災害復旧改良事業関連等、優先度を決め、策定していく必要がある。

②困っている状況が発生している「原因」

- 河川整備基本方針及び河川整備計画の策定においては環境調査に加えて河道計画等の検討も必要であり、策定に期間を要する。また、策定に要するコストも大きい。

③原因を解消するための「課題」

- 策定作業の効率化、迅速化、コストの削減。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 手続きの短縮化、低コスト化、特に小流域の2級河川における手続きの簡略化といった「制度改革」などを他県とも連携して国に働きかける。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）